

ἀποκάλυψις

アポカリュプシス

知っておきたいキリスト教のことば (65)

啓示 けいじ

「啓示」とは、本来隠されている神的なものが現れ、示されることをいいます。

旧約聖書では、神さまは律法や預言によってご自分をあらわしています。エジプトから導き出した者として、また聖なる者、憐れみ深い者、創造者として、神さまはイスラエルの民に関わっていきます。そのときどきに神さまは、モーセやイザヤなど特定の人物を通してご意思を示し、歴史の中に介入していきました。

その方法には、夢の中でのお告げもありますし、「神の言葉が降った」と書かれているところもあります。また象徴的な出来事を通して、神さまのご計画が伝わっていくこともありました。

そして新約の時代、神さまはイエス様をこの世に遣わします。イエス様の誕生の際、母マリアは天使から啓示を受けます。その時にマリアは戸惑いながらも、「お言葉どおり、この身に成りますように」と受け入れていきます。

そしてわたしたちには、イエス様を通して神さまが啓示されています。簡単にいうと、イエス様によって神さまの愛や恵みを知る者とされたのです。

しかしわたしたちは、自分の力だけで神さまを認識したり、神さまに近づいたりすることはできません。神さまからの導きがなければ、それは不可能です。

イエス様の十字架の死と復活によって、神さまの愛がわたしたちの元にも開示されました。わたしたちが生かされるものとなるために、神さまはご自身を啓示されたのです。

どうぞこの神さまからのお恵みを受け入れてください。

次回は「契約」です。お楽しみに。



「モーセ」

ホセ・デ・リベラ

1591～1652年

神は続けて言われた。「わたしはあなたの父の神である。アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神である。」モーセは、神を見ることを恐れて顔を覆った。

(出エジプト記3章6節)

